



スローガン=

個性が響きあう社会へ~Harmony of Uniqueness~

MISSION&VISION-ミッション&ビジョン-

ミッション…使命・手段

表現活動によって、 自分らしく・たくましい個人を増やす

ビジョン…目指す社会・構想

多様な価値観を認め合える社会

CONTENTS

-目次・総会議案-

第1号議案 P04-P05 コモンビートの2019年度

第1号議案 P06-P07 みんなでつくった1年間

第1号議案 P08-P09 小さな積み重ねが山となる(数字で見る成果)

第2号議案 P10-P11 コモンビートの2020年度

第2号議案 P12-P13 2020年を100倍楽しむ方法

第2号議案 P14-P15 事務局運営フジヤマ登山計画

第 1 号 議案 P16 2019年度決算報告

第2号議案 P17 2020年度予算計画

第3号議案 P17 定款変更

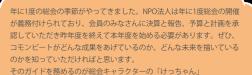
第4号議案 P17 議事録署名人

第1号議案 P18-19 事業評価への挑戦

■コモンビート総会のご案内とガイドのご紹介







「ほうこくん」「よっちゃん」「けいかくん」です。彼らと一緒にこの Futurebookを楽しくお読みいただければ幸いです。



コモンビートの 2019年度

事務局の新体制発足!団体の第二成長期

団体の次なる成長を目指して、これまでのやり方から様々な変化を生んだ一年。運営体制においては、 総会・理事会・事務局(事業部・管理部)とで権限を分掌。また、地域統括部をおき、地域のことは各地 域で管理を行う体制に。それぞれの権限においてマネージャーが自分で決定できることで、属人的な 判断を防ぎつつも、スピーディーに意思決定ができるようになりました。また、外部から新しいメンバー を迎えた理事会においては、教育の専門的な観点も交えながら、より広い視点でこの活動の社会への 活かし方を見つめ直しています。同時に、事務局での全体合宿を定期的に行うことで、部署で分断され ない柔軟なコミュニケーションを強めています。

過去キャストから未来のキャストへのプレゼント! 「あたらしいリノリウム墓金」

これまで約6000人のキャストが立ってきたコモンビートの舞台の「リノリウム」が、15年の時を経てリ ニューアル!募金にご協力いただいたOB/OGのみなさん、ありがとうございました!現役を引退したリ ノリウムは、過去キャストの1人が主宰する「中林堂」によってキーホルダーなどの素敵なグッツに生ま れ変わり、支援してくださった方々の手に渡りました。また、新しいリノリウムには、応援の気持ちを込め て、寄付者の名前が手書きで刻まれています。OB/OGキャストが未来のキャストを応援する、そんな循 環の一つとなりました。

地域に根付く!ミュージカルの地方展開

2019年は、鹿児島と群馬で2回目、久留米では3回目のミュージカルプログラムを実施。また、新潟で の2回目の開催が決定するなど、数年前に立ち上げた地方ミュージカルプログラムが、その後も地域 にコミュニティとして残り、根付き始めたことを感じる一年でもありました。49期の静岡での立ち上げ も大成功に終わり、四国という新たな地方へも進出!地域間での人の循環もそれによりますます多様 になっています。それぞれの地域の特性を活かしながら大都市とは違うペースで進む、地方でのミュー ジカルプログラムの可能性を改めて実感する一年となりました。

初めての公演中止。53期関西プログラム。

53期関西プログラムでは、台風19号の影響により、10月12日の初公演を中止。翌日の13日に予定し ていた二公演は無事に開催となりました。チケットの払い戻しなど様々な対応がありましたが、ご協力 いただいたみなさま、本当にありがとうございました。コモンビートのこれまでの活動の中で初めての経 験となった公演中止は、「最終的な判断軸はどこにあるのか」「このような事態に耐えうる団体なのか」 を改めて見直す機会となりました。今後もこのようなことが起こらないとは限りません。どんな状況にあ っても、強くたくましく社会に貢献できる団体であれるよう、この経験を活かしていきます。

2019年度を振り返って

理事長

安達 亮

「令和」という新時代が幕開けました。ます。いつも本当にありがとうございます。動に関わってくださったみなさまに感謝してい動に関わってくださったみなさまに感謝してい、無事に1年を終えることができました。活

い活れ

トシティ浜松」で多くの方に立ち-

9公演を成功させるりをご支援頂き無

メント 「ーション」ところの思春期や、この社会においてみたりするおも、この社会においての貢献していきにめるフェーズに日分の頭を使って年となりました。日分の頭を使って日かの頭を使ってとと誰でも同じなりました。

方ての

声こ

の

いってスいに もん ホップ でった。 のにき お た 田 笠 ソ

あおたい年思第ン

りいいて頃いニビ

構れそなコりを

をでを在ン自え間

始の改とビ己てで めやめし1分いい

築まれ存モ

てのど今ん長りは、かんのだ期は、

悩 成 |

迎人

いく形が増えてきま

J支援頂き無事に「アク。また「静岡」に初上陸-L根ざして活動を広げて

ったの

コモンビートの16年目の活動も時代の流れと共に「新しい時代」をつくっていこうと動き始めました。その「新しい時代」に向けての変化の一つに「教育」という大きなテーマを団体の一つに「教育」という大きなテーマを団体の自覚を持って表現できていなかったので「教育団体」として自分たちを捉え直し、各事業や事務局運営においても「教育」という観点から見つめ直しに取り組みました。
すべての活動において、表現活動の機会を提供することは大前提で、そこにどれだけの「学び・気づき」を伝え、「成長」につなげることができているのか。それを率い、支える事務局 スタッフは日々挑戦・成長しているのか。向き合うべきことが見えてきた気がしています。そういう意味でも、2019年は教育団体としての第一歩を踏み出した記念すべき1年目となったのではないでしょうか。

すが、ここ最近は地域に根ざして活動数年前まで地方都市での開催が珍しか目の開催となる「鹿児島」と「群馬」に

安藤 悠一

面白い特徴です。ミュージカルプロ都市の交流がコモンビート内で増京×群馬」「静岡×名古屋」など大地方都市への広がりにより「福岡 りが増えていくことにも、 ・ジカルプログラムをキッー・ジカルプログラムをキッーをないたり、地域 により「福岡×鹿児島」「東により「福岡×鹿児島」「東

る時白こテコミマる

もので

使会い

手とでが可ィ

をエのか能ブ

借ン便かにに

分そくち夕利ですけの、るーなコるえ

カケに地方ならではの良さに気づいたり、地域カケに地方ならではの良さに気づいたり、地域カケに地方ならではの良さに気づいたり、地域カケに地方ならではの良さに気づいたり、地域カケに地方ならではの良さに気づいたり、地域カケに地方ならではの良さに気づいたり、地域カケに地方ならではの良さに気づいたり、地域カケに地方ならではの良さに気づいたり、地域カケに地方ならではの良さに気づいたり、地域カケに地方ならではの良さに気づいたり、地域カケに地方ならではの良さに気づいたり、地域カケに地方ならではの良さに気づいたり、地域カケに地方ならではの良さに気づいたり、地域カケに地方ならではの良さに気づいたり、地域カケに地方ならではの良さに気づいたり、地域カケに対しています。 由」「ユーモア」etc・・・バランスを大切になくなるのでは意味がありません。「安全性」「ざても、それに縛られて自由な発想で活動でしかし、体制を強化したり、ルールを決め

いませんがある。

/を経てま.ひさ」を見.ないもの、

の年も***
(また) (乗も**

ま. でのどちらなる、 らなる、 らなる、

る成長 る成長

から、の様々



事務局長

4 COMMONBEAT Future book 2019→2020 COMMONBEAT Future book 2019→2020 5

地域に根ざした活動とその基盤づく

トら

しさを見つめ直す

平成から令和、

コモンビー

みんなでつくった1年間

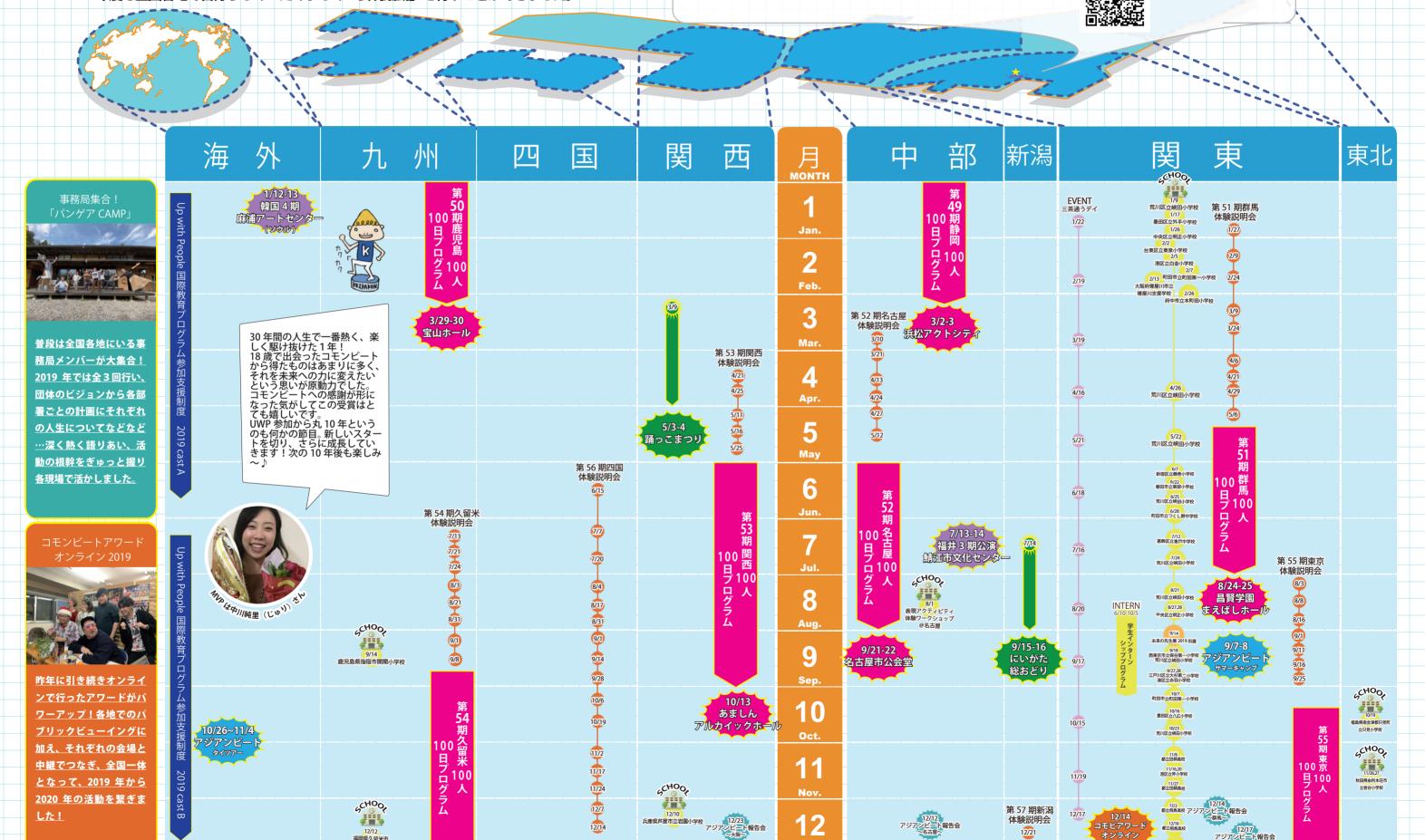
2019 年度も全国各地で自分らしく・たくましく「表現活動」を行うことができました。

12/12 福岡県久留米市

52 期名古屋と53 期関西、そして、54 期久留米と55 期東京。地域を超えて合同合宿が行われたことで、全国がまたぎゅっと 近づいた一年。と同時に、今年はスクールプロジェクトを全国で実施しました!日本中の子どもたちに、表現と異文化理解を 楽しむ授業をお届けしました!また、これら全国の活動は、インターン生が広報プロジェクトとして運営したインスタグラム で色鮮やかに発信されました!ぜひこちらからご覧くださいね!

12/21

(事務局長 花宮 香織)



小さな積み重ねが山となる!

一数字でみてみよう、コモンビートの社会への成果一

コモンビートの社会への成果は、プログラムに参加したキャストがその後の人生の中で、「自分らしく・たくましく」、「多様な価値観を認め合う」ことを実現していくことで生まれていきます。そのために、コモンビートでは全国でプログラムを展開し、「表現活動」の機会を提供しています。ミュージカル、お祭りビックバン、アジアンビート、スクールプロジェクトによってコツコツ、プログラム卒業生を生み出していきます。



ミュージカルプロジェクト

国内 **5** 地域のミュージカル公演で、 個性豊かな **497**名のキャストが、 来場された観客 **17,100**人に、 ミュージカル「A COMMON BEAT」の メッセージを届けました。

2019年は静岡の立ち上げ、鹿児島・群馬の2回目公演と地方都市での開催が多く、キャスト集めや集客など苦戦することも多々ありましたが、皆さまのご支援のおかげでやりきることができました。また、久々の開催となった名古屋、ここ数年勢いの強い関西はキャスト参加希望者がとても多く集まり、100人超えのキャストでプログラム開催となり、多くの方にご来場いただきました。

キャスト内訳 : 49期静岡99人・50期鹿児島89人・51期群馬99人・52期名古屋106人・53期大阪104人



観客 17,100 人のうち

1,400名が、青少年ファミリー招待活動でご来場されました。

全国でのファミリー招待活動も活発に行われています。ご家族に向けて 「異文化理解」や「平和へのメッセージ」を届けることができました。



お祭りビックバンプロジェクト

個性豊かな **105**名のキャストが演舞 地域を沸かすことに全力!

過去のイベントで使用した楽曲を活用し、新しい演舞「Keep the Beat -YOSAK OI mix-」を製作しました。

どの地域においても自分たちで作り上げられるものを目指し、振付・隊列構成・ 衣装などシンプルにできるように一新。練習内容においても、お祭りが開催され る地域を深く知る時間が生まれたり、この作品で社会をどのようにしたいか語り 合うなど、外へのアプローチができる余白が生まれました。

新演舞になったことで、新たな気付きが多く生まれた2019年でした。

キャスト内訳:踊っ子まつりプログラム2019 57名、にいがた総おどりプログラム2018 48名



アジアンビートプロジェクト

日本キャスト**12**名、韓国キャスト**2**名、 表現活動を通じた言葉を超えた異文化交流の 機会を提供しました。

UWP経験者の二人が中心となり、パワフルにプロジェクトを引っ張ってくれました。北は秋田、南は鹿児島と、全国各地から日本キャストが集結!日韓二ヶ国のキャストでタイを訪問し、孤児院や大学にて言葉をこえたパフォーマンス交流を実施しました。帰国後、全国各地で開催したツアー報告会も大盛況でした!

※訪問国:タイ



スクールプロジェクト

25 校の生徒約 **2109** 名に 自分らしく表現を楽しむ機会、世界のダンスに触れる機会をスクールキャスト **124** 名が届けました。

これまでは都内での実施が中心でしたが、2019年は全国各地でプログラムを行うことができました。2020年以降の更なる拡大の足掛かりとして、ファシリテーターの育成・増員にも注力。また、オリンピック・パラリンピックの盛り上がりに伴い、様々な教育現場で異文化理解や表現教育のニーズが高まっていることを肌で感じた一年となりました。



UWP国際教育プログラム参加支援制度

支援制度を利用して

2 名の支援キャストがアメリカに渡り 国際的なリーダーシップを学びました。

Cast Aは三矢楓(もっぴー)さん、CastBは木村莉子(りこ)さんが、支援キャストとしてUWPのプログラムに参加しました。もっぴーはアジアンビートスタッフを経て国際交流事業部長として活躍中。りこは、新潟のミュージカルスタッフとしてUWPでの活動を思い切り活かしてもらうことになっています。これからの二人の活躍にご期待ください!



学生インターンシッププログラム

学生インターンシッププログラムに、 大学生 **4** 名、社会人メンター **4** 名が 参加しました。

今までのインターンとは違い「広報インターン」として団体公式Instagramの立ち上げやブログ記事作成を担当してもらいました。コモンビートの魅力を広く一般に伝えていくという「広報」の難しさにぶち当たりながらも、約4ヶ月間、毎週のようにミーティングをして、とにかく発信することに挑戦し続けた姿勢はあっぱれでした!

8 COMMONBEAT Future book 2019→2020

コモンビートの2020年度

2020年のコモンビート事務局は、ミュージカル事業部長、国際交流事業部長、エリアマネージャーの一部が代替わりし、一つの節目を迎えています。新陳代謝は組織としての成長のための一つの過程として、まずは、新たなチームとして一丸になれるようコミュニケーションを強化していきます。そして、これまで大事にしてきたことを継承しつつ、新鮮なやり方や視点で、「個性が響きあう社会」に向けて、活動をより推進していけるよう、取り組んで参ります。

理事会 VISION ▶ 大きな目標を掲げ、社会・教育視点で活動をつなぐ 1 「教育」観点からの助言・ネットワークの活用 2020年の 2) 中期計画策定 (2020-2023)・社会課題との接続 取り組みテーマ 総会 3 2030 目標を設計する 2019年度は外部理事を入れ、理事会の構成を変えました。ただ、多様な 視点をもつ外部理事の方に入っていただきつつも、あまりその多様性を 活かしきれなかったという反省があります。そのため、今年はしっかりと 彼らの持つ観点を現場に接続して活かしていきつつ、中・長期計画の策 理事会 経営企画室 定をし、大きな目標に向かって走る組織にしていきたい。 理事長 安達亮 事務局長 事務局長 花宮香織 お祭りビックバンプロジェクト (はな) 地域統括部 エリアマネージャー 運営管理部長 運営管理部 中部 関西 (あおい) (あかりん) (りょーちん) 三矢楓 北野三保子 (もっぴー) (さんぽこ) 国際交流 ミュージカル 学校協働 ミュージカル事業部 ジカル事業部 ミュージカルプロジェクト アジアンビートプロジェクト スクールプロジェクト Up With People 参加支援制度 安藤悠-大田郷子 (あんどぅ) (ごーちゃん)

経営企画室

VISION ▶ お金にこだわりながら、ワクワクする新規事業を増やす

2020年の 取り組みテーマ

- 1 ミュージカル事業の協賛パッケージを強化
- 2 次世代人材 (特に事務局長)の採用と育成
- 3 ミュージカル以外で財源を生み出す

2019年度は企業連携を強化し、ミュージカル公演における企業協賛は目標達成できました。今年も推進するべく、さらに企業研修やワークショップなどのパッケージを開発していきます。スクールプロジェクトも企業協賛によるマネタイズを考えています。またコモンビートの核を担う次世代人材の採用を目指し、採用と育成を強化します。

ミュージカル 事業部

VISION ▶ ミュージカル創りを通して社会を湧かす!変化を強みに変えていく!

2020年の 取り組みテーマ

- 1 ミュージカル事業部の再構築による運営強化
- 2 情報共有とコミュニケーションの質向上
- 3 次世代の中核を担うメンバーの育成

これまでミュージカルの裏を支えてくれていた白井雅博 (MASA) と白井さやか (うめちゃん) が卒業し、事業部長には太田郷子 (ご一ちゃん) が就任!また、その他にも瓜生珠子 (アニー)・服部佑希乃 (ちょり) をスタッフとして迎え、これまでの積み上げを 生かしつつ、新たな体制づくりに臨みます。ミュージカルプログラムに携わるメンバーの長期的な関わりができる仕組みづくり も強化し、ステップアップを楽しめるプログラムづくりも行っていきます。

学校協働 事業部

VISION ▶ ガンガンいこうぜ!「拡大と挑戦」で日本一の表現教育プロジェクトを

2020年の 取り組みテーマ

- 1 現場と時代のニーズを汲み取り、SDGs に関する新プログラムを設計する
- 2 全国にプログラムを提供できる体制作り
- 3 営業力・PR力を高め、外部への積極的なアプローチを!

オリンピック・パラリンピックが盛り上がる2020年。教育現場でも「異文化理解」により注目が集まります。その波に乗り、2019年から力を入れているファシリテーターの育成・増員と併せて、全国各地にプロジェクトを拡大!新たなスタッフとして村岡真梨 (まる)も加わり、新しいチャレンジに溢れた1年にしていきます。

国際交流 事業部

VISION ▶ 誰もが世界へ踏み出す扉づくりをクリエイティブに

2020年の 取り組みテーマ

- 1 New Asian Beat! New country & Cast's diversity
- 2 広報強化! Asian Beat 英語ページ・SNS の立ち上げ
- 3 UWP/Asian Beat の参加キャストを巻き込んで mini program 企画 過去キャストのアウトプットの場を作る

2019年はアジアンビートに全国からキャストが集まり、プロジェクトの日本国内での認知の広まりを感じました。2020年は、事業部長に三矢楓(もっぴー)が就任!さらにキャストの国際色を持たせ、世界を感じるプログラムにするべく今年は海外キャストの集客に注力します。

そしてアジアンビートに止どまらず、世界をもっと身近に感じるようなカジュアルな企画も形にする年にしたいです。

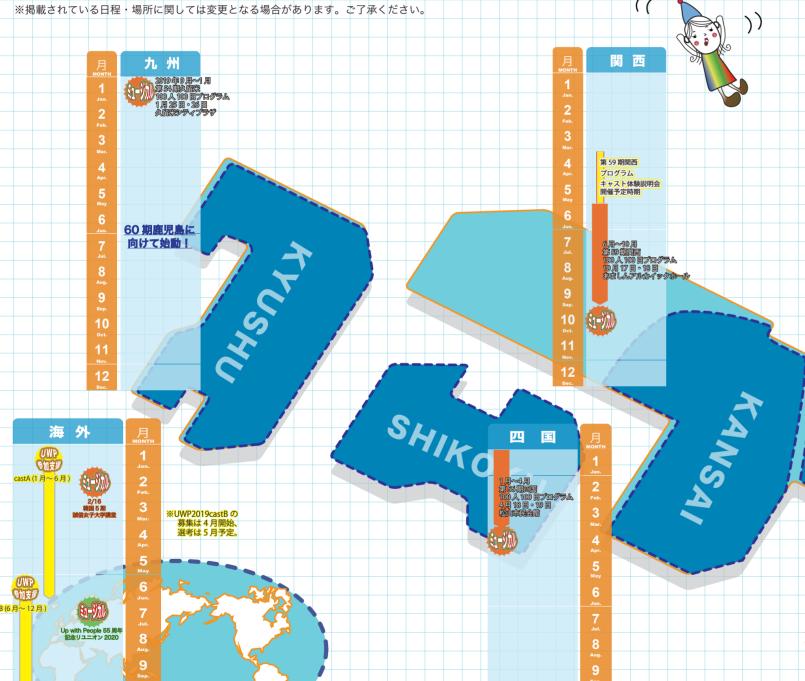
10 COMMONBEAT Future book 2019→2020 11

2020年を100倍楽しむ方法

~ 1 年間で行われる多彩なイベント・プログラムに参加しよう~

2020年のコモンビートは、さらに日本中そして、世界中を駆け巡る!?ミュージカルでは、54期久留米・55期東京・56期四国・57期新潟・58期名古屋・59期関西と、史上最多の国内プログラム6本にチャレンジ!また、「Up with People」の創立55周年記念リユニオンやアジアンビートプロジェクトのパフォーマンス・交流ツアーのインドネシア行きなど、海を渡ります!また、ビジョンのもとに活動の幅を広げ、他にも様々なイベントも企画中なので、それぞれの興味分野に合わせて活動にご参加ください。

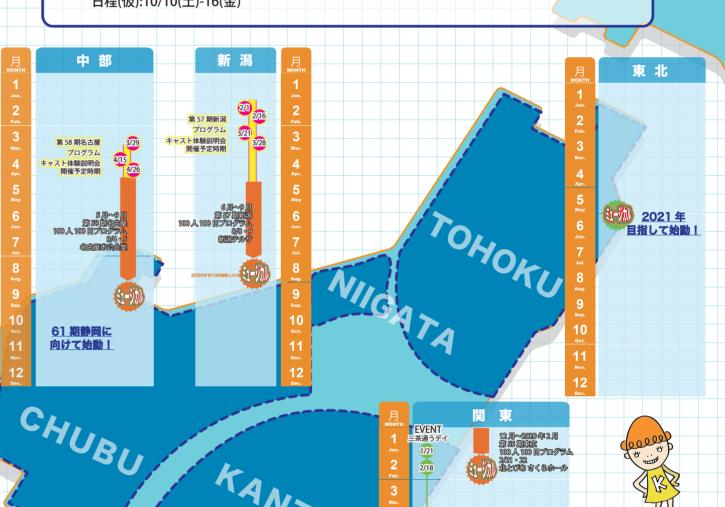
この一年の活動を通じて、より多くの人がさらに「自分らしく・たくましく」なり、多様な価値観を認めあ える社会の実現に近づけるよう、この一年もアツく活動していきましょう!



E 9.7.7.97

2020年もコモンビートは全国を駆け巡る!

- ・ミュージカル「A COMMON BEAT」が作品誕生20周年となる2020年。 その生みの親であるアメリカの教育NPOの「Up with People」の創立55周年記念リユニオン (同窓会)で、パフォーマンスを披露します!
- ・今年のアジアンビートプロジェクトのパフォーマンス・交流ツアーの行き先は、初めてのインドネシア!ツアー詳細は、追ってHPで公開しますので要チェック!サマーキャンプ:9/25(金)-27(日)ツアー日程:11/21(土)-29(日)
- ・新企画!タイのチェンライにある孤児院メイコックファームで子ども、地元大学生、キャストによる学び会いワークショップのツアーを実施! ツアー詳細は追ってHPで公開しますので乞うご期待! 日程(仮):10/10(土)-16(金)



WC

ウェルカムキャストTシャツが 新しくなりました! 環境配慮の視点から、2020 年度 通期のオリジナルTシャツを作成



9/15 10/20 11/17

3-322-1-7-2-1-7200 12/12 事務局 今何合目?より健全な組織を目指してエクササイズ!

事務局運営フジヤマ登山計画

事業・活動を支える事務局として、今年度取り組む具体的な計画をご紹介! 組織も人と同じで健康であるべきです。

フジヤマ登山になぞらえて、一歩一歩登っていくことで、ビジョン達成にも近づいていきます!

VISION ▶ 血の巡りの良いしなやかでたくましい組織へ

14 COMMONBEAT Future book 2019→2020

- 1 情報とコミュニケーションの交通整備
- 2 多様な人が多様に関わるための健全な組織運営
- 3 「コモンビートらしさ」の問いかけ

運営管理部

VISION ▶ 「ホントはやさしい管理部」を認識してもらう

- 1) コミュニケーションに必死になる
 - 2 前提を揃えることに必死になる
 - 3 スケジュールの把握&Update に必死になる
 - 4 続・一人一人がシンカリオン!

認定NPOの取得に向けて

引き続き進めます。

より多くの人たちと一緒にビジョンへ向かって 進むことができるように。社会的信用の向上 や寄付控除による税制優遇など支援者への メリットもある認定NPO取得へ向けた準備を

団体内部のリソース確保へ。 来期を見越した採用活動。

認定NPOの取得に向けた人材確保や、 経営を客観的に見てもらえる専門家と の協働を模索して、「攻め」のバックオ フィスを作ります。2021年の採用に向け、 今年はリサーチの年にします!

1日1人! 365人の

がっつりバディに支えられたい!

コモンビートを支える会員制度『がっつりバ ディ』今年の目標は365人です。1日ひとり、 一歩ずつ応援してくれるメンバーを増やし ていきます。会員限定オンラインコミュニ ティも活用し、メンバー同士の交流も図って

情報のストレージを作ろう!

便利なツールがたくさんある反面、情報が あちこちに散らばっている状況も生まれ ています。いつでも新しいものを取りに行 ける『情報の倉庫』づくりに取り組みます。 16年間の情報やノウハウを「使える武器」に していく1年です。

.外に飛び出せ! 社会を学ぼう!

社会を変えてく活動であるからには、 スタッフ自身がコモンビートの中に篭って いてはもったい無い!時には思い切って 普段の活動や業務から離れることで新し い視点を得たり、回りまわって、それが活 動や業務に活かされることもあるはず。 外に飛び出し、違う環境から学ぶこと。 そんな余裕も持ちながらこの一年に臨みます。

事務局スタッフのスキルアップ!

事務局スタッフ一人一人が専門性を高め、 広範囲な知識とスキルを身に着けることで 組織基盤がより協力に。

2020年度はNPO法人会計検定の受験、 デジタルマーケティングの講座を受け、 運用に取り組んでいきます。一生成長!

地球サイズで考える! 環境への取組みをより具体的に

規定づくりは団体づくり!

2019年に引き続き「判断を早め団体に関わ る人を守る」規定づくりに取り組みます。

業務委託契約書や広報ガイドラインなど。

明文化を加速します!

パンフレットのページ数を1枚減らすだけでも、 年間約2万枚の紙利用を減らすことができます。 活動内容に伴った行動を、団体としても取り組 んでいきます。資源の有効利用、ゴミの削減、 アイデアがあればぜひ教えてください!

広報リニューアル!

スマホ表示に標準を合わせ、団体HPの リニューアルに着手してます! 公演パンフレットもウェルカムキャストの TシャツもSNSでの発信も・・それら全てが 「団体のPR!」より多くの人に活動を届ける ために、多角的に広報を見つめ直します。

コモンビートワーキング スタイルの確立へ!

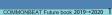
多様な人がそれぞれのスタイルで気持ちよ く働くには?今年も大きなテーマです。 時短勤務、リモート勤務、副業などなど。 その人らしい働き方を尊重し、お互いをフォ ローしあえる体制づくりに取組みます。





START





平成 31 年(令和元年)法人第 16 期決算報告(対平成 31 年予算)

平成 31 年度 損益計算書 収支決算 (対 R2 予算計画)

事業収入

養収入

助成金収入

寄付金収入

協賛金収入

経常収益計

期首棚卸高

役員 報酬

法定福利費

外 注 費

業務委託費

諸謝金

通信運搬費

旅費交诵費

会 議 費

消耗 品費

印刷製本費

地代 家賃

賃 借 料

倉庫使用料

商品制作費

保 険 料

支払手数料

著作 権料

施設使用料

修繕費

参加料

事業費計

和税公課

役員 報酬

給料 手当

法定福利費

福利厚牛費

通信運搬費

水道光熱費

旅費交诵費

車 両 費

業務委託費

会議費

外 注 費消耗 品費

印刷製本費

地代 家賃

租税 公課

リース 料

支払 報酬

支払手数料

諸会費

管理費 計

雑 費

経常収支差額

保 除 料

UWP参加支援費

当期事業費 計

期末商品・製品棚卸高計

車両費

期首商品・製品棚卸高 計

受取利息

雑収入

1,470,000

3 700 000

1,200,000

3,675,000

564 000

10 380 000

11.782.000

986,000

9 454 030

1 670 000

470,000

4 777 500

1,880,000

200 000

200 000

950,000

3.191.000

430,000

290 000

1 235 00

18 228 800

1.000.00

325,000

71.688.330

6,600,000

4 920 000

1,788,000

50 000

630 784

204,000

2.407.250

1.250.000

30 000

500,000

720,000

2 777 136

2,175,000

259.200

1,214,000

50 000

230,000

3.300

25 805 370

71,688,330 69,794,213

R1収支予算 R1収支決算

97.497.000 99.219.060

1,296,72

2 071 57

853 808

1,024,240

653

206,213

206 21

518 627

3,675,000

9 679 502

12.984.180

30.000

758,607

280,903

3 751 632

1,973,974

644 408

282 333

189,512

4.630.314

244,240

330.930

1 144 27

17,131,160

996.00

278,463

68 040

121,000

69,794,213

6,600,000

4 920 00

1,808,966

758 207

218,234

47,056

945,863

54 481

374,000

436 047

388,534

39 256

2 794 290

1,670,050

1,185,600

260.280

775.406

20 300

185,527

25 309 778

4.115.069

1.827.681

200

8 736 910

1 137 77

(単位:円)

差異

2 843 8

853.808

1.226

-175 7

1.722.06

1.202.180

-227.3

-717

-532.2

444 408

82 33

-760 4

1.439.31

-185.7

40 930

68 040

121,000

20,966

127 42

14,234

47,056

-579.5

-304,13

24 48

374,000

17 15

39 25

1.08

-28,40

775,406

-29 7

-495.5

4.111.76

-504 9

1.894.1

-1.894.1

-90.7

30.00

2019年度(第16期)の経常収益は、約411万円となりました。

事業収入において、ミュージカルプロジェクトでは、「全地域でキャスト 100 人、公演満席を目指す」というスローガンを掲げ、全プログラムが一体となって目標に臨みました。チケット販売が難航した 51 期群馬プログラムや台風で一公演が中止になり払い戻しが発生した 53 期関西プログラムの分も、49 期静岡、50 期鹿児島、52 期名古屋が支え、共催の福井と韓国も収益増で後押しし、このような着地となりました。支出においては、各費用の経費削減を積み重ね、ミュージカル事業は予算に対して黒字の結果となりました。

お祭りビックバンプロジェクトでは、参加キャストの増加と運営体制の変更による交通費等の経費削減によって、予算を上回る収益となりました。スクールプロジェクトでは、今年から都立高校プログラムの報酬が次年度付けとなり、対予算からは収入が下回る結果となりました。アジアンビートプロジェクトは、例年通りMRAハウスとの協働で実施し、ほぼ欠損はゼロの収益状態となりました。

事務局(管理部門)では、会員数の目標を達成し、同時に旅費交通費や印刷経費などの経費削減に努め、支出が予算を下回る結果になりました。

以上、2019年度は、公演中止などの予想外のアクシデントもありながらも、事業部門での踏ん張りと管理部門での地道な経費削減により、このような結果となりました。

-			
令	和元年度 貸借対照表	(単位:円)
	金額		
資産の部	流動資産	現金預金	42,258,606
		立替金	70,500
		前払費用	8,655,357
		未収金	1,658,018
	流動資産合計		52,642,481
	固定資産	敷金	1,297,002
	固定資産合計		1,297,002
資産の部 合計			53,939,483
	流動負債	未払金	2,412,115
負債の部		未払法人税等	262,500
		未払消費税等	923,700
		前受金	17,095,057
		預り金	588,639
		仮受金	18,250
	流動負債合計		21,300,261
	固定負債		0
	固定負債合計		0
	21,300,261		
正味財産の部	前期繰越正味財産		28,786,827
	当期正味財産増減額		3,852,395
	32,639,222		
負	53,939,483		

令和 2 年法人第 17 期予算計画(対平成 31 年決算)

令和 2 年度 損益計算書 収支予算(対 H31 決算報告)

(単位:

2020 年度 (第 17 期) は、約 12 万円の経営利益を計上しております。

ミュージカルプロジェクトは、54 期久留米・55 期東京・56 期四国・57 期新潟・58 期名古屋・59 期関西と、年間の国内プログラム実施最多の6本を計画しています。新地域の立ち上げや感染症予防対策の影響などの不安定な要素も考慮し、各プログラムで補い合いながら、予算達成に向かいます。また、衣装やチケットなどの専門的な管理スタッフも採用し最大数のプログラム運営を支えると共に、新たな体制づくりに臨みます。

スクールプロジェクトでは、引き続き一般財団法人 MRA ハウスからのご支援をいただき、認定ファシリテーターの増員や運営基盤を強化しながら事業拡大を目指します。また、教員向けのワークショップの開催など、学校訪問以外のかたちでも表現教育を届ける企画を推進します。

アジアンビートプロジェクトにおいては、一般財団法人 MRA ハウスとの協働を拡大。これまでのパフォーマンス・交流ツアーに加えて、タイ北部の子どもたちと学び合うボランティアプログラムなど、新たな企画を展開します。

お祭りビックバンプロジェクトは「浜松がんこ祭り」プログラムを実施していましたが、新型コロナウイルス予防対策で本祭が中止となっており、対応を行っております。

また、経営企画室では企業協賛を昨年から拡大し、予算計上も増やしております。ミュージカル以外でもスクールプロジェクトへの協賛など新たな協賛パッケージ作成や、企業研修にも着手しています。

事務局としても、会費収入も増加を見込み、事業収入以外の財源確保を強めます。

新しいメンバーが加わり組織としての大きな新陳代謝を迎えることで、 新しい企画ややり方を模索する一年。世の中の変化にもしなやかに対 応し、耐えうるたくましい存在であれるように、様々な施策を講じて いきます。

▼ 定款変更 ▼ 第3号議案

会員資格喪失の期間を実情の運用に合わせて変更します。

(会員資格の喪失)

第9条 会員が次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。

<旧>

(3) 継続して1年以上会費を滞納したとき。

<新>

(3) 継続して6ヶ月以上会費を滞納したとき。

第4号議案

議事録署名人を以下に推薦します 会員(事務局員)前嶋葵 会員(事務局員)花宮香織



			D4 顺士法等	DOID工艺管	学 田
		車業順 3	R1収支決算	R2収支予算	差異
		事業収入	93,970,834	109,764,000	15,793,16
		会費収入 助成金収入	1,296,729 2,071,570	1,545,000 1,000,000	-1,071,57
7	ŧ	寄付金収入	853,808	1,000,000	-853,80
		協賛金収入	1,024,240	2,000,000	975,76
	E	受取利息	1,226	0	-1,22
Ī	_	雑収入	653	0	-65
		経常収益計	99,219,060	114,309,000	15,089,94
		113-NTTT1	00,210,000	111,000,000	10,000,0
		期首棚卸高	206,213	0	
		期首商品・製品棚卸高 計	206,213	0	
		役員 報酬	3,675,000	900,000	-2,775,00
		法定福利費	518,627	141,000	-377,62
		外 注 費	9,679,502	13,630,000	3,950,49
		業務委託費	12,984,180	13,466,000	481,82
		諸 謝 金	30,000	0	-30,00
		通信運搬費	758,607	1,086,000	327,39
		旅費交通費	8,736,919	15,280,180	6,543,20
		車両費	1,137,778	2,010,000	872,2
		会 議 費	280,903	520,000	239,0
	事	消耗 品費	3,751,632	4,712,000	960,3
		印刷製本費	1,973,974	2,440,000	466,02
	NII/	地代 家賃	644,408	200,000	-444,40
	業	賃 借 料	282,333	240,000	-42,33
		倉庫使用料	189,512	1,130,000	940,4
	費	商品制作費	4,630,314	4,242,000	-388,3
		保 険 料	244,240	450,000	205,70
		支払手数料	330,930	152,000	-178,93
		著作 権料	1,144,278	1,170,000	25,72
		施設使用料	17,131,160	22,737,500	5,606,3
		UWP参加支援費	996,000	1,000,000	4,00
		雑費	278,463	710,000	431,5
		修繕費	68,040	0	-68,04
		租税公課	200	0	-20
		参加料	121,000	0	-121,00
		当期事業費 計	69,794,213	86,216,680	16,422,40
支		期末商品・製品棚卸高計	0	0	
		事業費計	69,794,213	86,216,680	16,422,40
	Н	役員 報酬	6,600,000	6,960,000	360,00
出		給料 手当	4,920,000	5,400,000	480,00
		法定福利費	1,808,966	1,920,000	111,03
		福利厚生費	0	50,000	50,0
		通信運搬費	758,207	531,200	-227,0
		水道光熱費	218,234	252,000	33,7
		旅費交通費	1,827,681	2,540,680	712,99
		車両費	47,056	0	-47,0
		業務委託費	945,863	1,920,000	974,1
	管	会 議 費	54,481	80,000	25,5
		外 注 費	374,000	100,000	-274,00
	理	消耗 品費	436,047	500,000	63,9
		印刷製本費	388,534	670,000	281,40
	础	地代 家賃	2,794,290	2,880,000	85,7°
	費	保 険 料	39,256	0	-39,2
		租税 公課	1,670,050	2,175,000	504,95
		リース 料	260,280	259,200	-1,08
		支払 報酬	1,185,600	1,214,000	28,40
		支払手数料	775,406	0	-775,40
		諸 会 費	20,300	50,000	29,70
			185,527	470,000	284,47
		雑 費	100,027	,,,,,,	
		管理費計	25,309,778	27,972,080	2,662,30

16 COMMONBEAT Future book 2019→2020 17



活動の価値や成果はどう表せる!? ~事業評価への挑戦の巻~

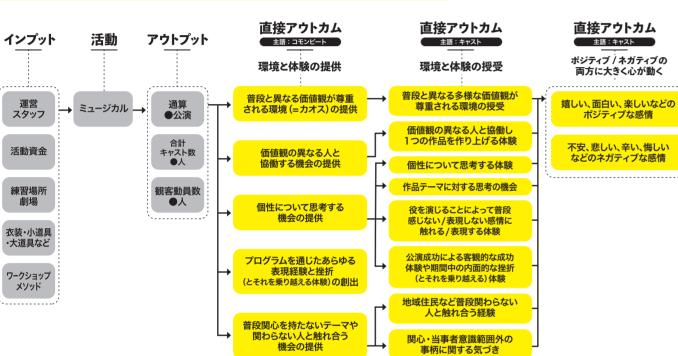
的多多的特殊会遇多理念了多

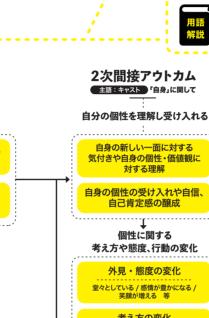
16年の活動を経て、ミュージカルプログラムの参加キャストは6300人、観客動員は22万人。小さな一歩を積み重ねて、 大きな数字になりました。では、その活動によって社会は一体どう変わったのか。「個性が響き合う社会」というビジョンに 果たして本当に近づいているの?個人の経験や感覚だけではなく、その問いに自信を持って答えるために。これまで明文化 や定量化できなかった「人の変化」という価値を、新たな形で表現!「コモンビートの活動の価値や成果を客観的指標で図 ること」そしてそれを「社会に伝えるためのデータや基準づくり」に挑戦しました!

このプロジェクトの協力者は、プロボノ集団の「認定NPO法人サービスグラント」のみなさん。普段は、様々な企業で、人事や マーケティングなどをされています。あだ名で呼び合いながらも白熱した議論を重ね、練習や公演にもいらしていただき、 半年かけて作っていただいたのがこちら。

事業やプロジェクトを実施するために投入される資源

ミュージカルプログラムキャストに関するロジック・モデル





対する理解

個性に関する

外見・態度の変化

考え方の変化

ポジティブ / 積極的な自己表現意識 等

行動の変化

3次間接アウトカム 主語:キャスト 「他者(プログラム内)」に関して 価値観の認め合いに関する理解 他者との違いを知ること ことの重要性を理解すること 考え方や態度、行動の変化 価値観の認め合いに関する 考え方や態度、行動の変化 多様な文化や価値観、海外等 への関心・理解の深まりと視野の 拡大、社会活動や市民活動への 外見・態度の変化 当事者意識・主体性の深まり 他キャストとの(互いの)歩み寄り / 言葉遣いの変化 等 考え方の変化 他キャストへの理解 / 視野の拡大 等 行動の変化 対話によるフラットでオープンな 関係性の構築 等

事業やプロジェクトのこと

アウトプット 事業やプロジェクトを実施することで直接的に生み出されたもの アウトカム アウトプットよりもたらされた直接 / 間接的な成果や社会的な影響

4次間接アウトカム 主語:キャスト、社会 「他者(プログラム外/社会)」に関して 価値観の認め合いに 活動の広がりや 関する理解、行動等の変化 コミュニティの形成 価値観の認め合いに関する理解 価値観の認め合いを促進する 主体的な活動の広がり

> コミュニティの形成 多様な価値観を認め合える 社会の実現

(地域や年齢等)境界を超えた

この活動がどんな変化を生んで「個性が響きあう社会」の実現に向かうのかのロジックモデルです!

そして、このロジックモデルを検証するために、参加者にアンケート調査を行なった結果…





あったのは全体の7割弱



(アンケート結果の一部抜粋)

ロジックモデルで定義した「環境と体験」をキャストは概ね経験している、という結果となりました。 「変化が起こってない人が3割もいるんだ」と思ったところ、『資質・能力開発の分野では、大人になってから変化が生める だけでも十分驚異』という声もいただきました。ただ、この結果が全てでも完全でもありません。

「101日目以降こそに、生まれる変化があるのでは?」「この変化を101日目 以降にも活かしていくためには?」「こうした定量的なデータと共に、個人の 物語のような定性的な発信が必要なのでは?」など議論の出発点であり、今度 も調査を続けることで、プログラムの設計や見直しの一つの参考としても活か してきます。

自分だけではできなかったことを他団体から協力をしてもらうことで、新たな成果 や価値を見出せたこと。そして、何より嬉しかったのは、サービスグラントの みなさんが、「コモンビートは社会を変える団体だ」と語ってくださったこと。 活動に参加したことはなくても、その意義を認め活動を心から応援してくれる 味方ができたことは、このプロジェクトのもう一つの価値だと感じました。

彼らの語る様子は こちらのラジオからも 聞けますよ~ パラ



プロジェクトの全貌がわかる!? サービスグラントの コモンビートプロジェクト ページはこちら!



追動の成果や

18 COMMONBEAT Future book 2018-2019



特定非営利活動法人コモンビート

〒154-0004

東京都世田谷区太子堂 1-12-35 アンビエンス世田谷 201 TEL 03-6805-3844 / FAX 03-6805-3865

info@commonbeat.org

http://www.commonbeat.org